

アサヒの森「植樹記念セレモニー」に参加しました

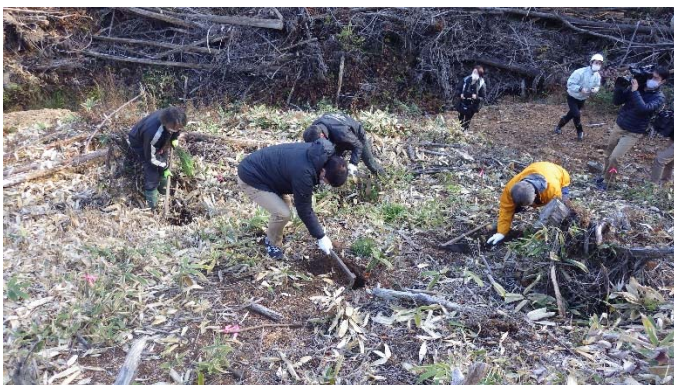
令和2年12月1日
広島北部森林管理署

近畿中国森林管理局とアサヒグループホールディングス（株）との間で6月25日に契約した分収造林契約（天皇陛下御即位記念分収造林）の植樹記念セレモニーが、11月30日、戸ノ丸山国有林において開催され、アサヒビール（株）広島支社、アサヒの森環境保全事務所、広島北部森林管理署の関係者10名が参加しました。



アサヒビール（株）広島支社長の挨拶

セレモニーでは、東田アサヒビール（株）広島支社社長、広島北部森林管理署長の挨拶の後、参加者でヒノキ苗を丁寧に植えました。



植樹の様子

アサヒグループホールディングスは、全国8箇所のビール工場で使用する水資源量を森林（もり）づくりを通じて100%還元する「ウォーターニュートラル」の目標を掲げ、その活動の一環として、国有林の分収造林制度を活用したものです。アサヒグループホールディングスは、今回の分収造林契約などを含め、95%の水資源還元が達成されています。



植樹の様子

広島北部森林管理署では、分収造林事業や森林（森）づくり活動等を通じた企業の社会貢献活動を引き続き支援していきます。